

お知らせ

～文部科学省 平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム (AP プログラム)」に採択～

「大学教育再生加速プログラム」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を支援することを目的としています。

全国の国公私立大学等からの 250 件の申請のうち 46 件が採択され、本学は「テーマ I(アクティブ・ラーニング)・II(学修成果の可視化)複合型」で採択されました。

本学は開学時からこれまで 20 年間にわたり、少人数クラス制のもと、アクティブ・ラーニングを行ってきました。この事業を通して、クリティカル・シンキング等の学修成果の可視化に取り組み、更なる教育の質向上を目指します。



～夏季休業中に施設をリニューアル～

1 号館 2 階にある自己開発センター、ARC(Academic Resource Center)、学生教職支援センターをリニューアルしました。両学部の学生が利用できる部屋ですので、目的に合わせて積極的に活用して下さい。また、学内の和式トイレを洋式トイレに一部入替え工事を行っています。



自己開発センター



ARC(アカデミック・リソース・センター)



学生教職支援センター

カナダでのバス転倒事故について

新聞等の報道を通してご存知の方もおられると思いますが、8 月 28 日、カナダで海外研修中の国際教養学部 2 年生 2 名がバスの転倒事故でケガを負いました。幸いなことに命に別状はありませんでした。現在、海外研修ディレクターがご家族、現地受入大学担当者、外務省、領事館や保険会社等と連携をとり、サポートをしておりますのでご安心下さい。二人が一日も早く回復する事を心から願っています。

危険ドラッグについて

いわゆる「脱法ドラッグ」が、7 月 22 日から「危険ドラッグ」という新しい呼称に変更されました。

夏休み中、海外研修中は気が緩みがちです。皆さん、絶対に興味本位で手を出さないようにしましょう。

学生生活の紹介

学友会任命式

平成26年6月10日(火)、今年度の学友会任命式を行いました。新学友会の役員一人ひとりが、全学生の代表としての自覚と責任を持つようと、式は在学生が集まる大学のスプーンで行いました。

永田雅輝学長は新役員に任命された学生一人ひとりに委嘱状と大学オリジナルのピンバッジを手渡し、「役員全員で協力し、みんなが充実した学生生活を送れるように積極的に活動を行ってください。」とメッセージをおくりました。

学友会会長を務める辻礼人(つじあやと)さん(広島三育学院高等学校出身)より「学生の代表として、これから一年間力を合わせてMICを盛り上げていきます。協力をよろしくお願いします。」と学生全体へ挨拶がありました。

任命式の後、昼食を共にしながら早速学長と学友会の懇親会がもたれ、これからの活動について率直な意見が交わされました。

今年が開学20周年という記念すべき年です。学友会のメンバーがそれにふさわしい実りある1年にしてくれるものと期待しています！



今年から1・2年生も役員に加わりました。

きよたけ郷土祭り～学生・教職員参加

平成26年7月20日(日)に行われた「第37回きよたけ郷土祭り～行列の部門 みこし～」に本学学生と教職員合計45名が参加しました。

行列部門には16団体、500名以上もの申し込みがあった中、本学は行列のトップバッターを務めました。

本学の参加は今年で2回目となりました。お祭りにはたいへん多くの参加があり、活気に満ち溢れていました。清武町が日々地域活性化することを願い、今後もこのようなイベントに参加していきたいと思えます。



「わっしょい！国際大学！」と威勢の良い掛け声があたり一面に響き渡りました。521名の観客が投票した中、本学が3位に選ばれ、表彰されました！

西都市小学生英語村体験研修を開催！

平成26年7月31日(木)～8月1日(金)の2日間、本学にて西都市教育委員会主催の「西都市小学生英語村体験研修」を実施しました。

この研修は、西都市の小中高一貫教育の「英語活動」「英会話」の取組の一環として、英語を使った体験型学習を集中的に行うことで、英語でコミュニケーションを図る喜びや、英語を学ぶ楽しさを体験してもらうことを目的として行われています。今回は西都市の小学校8校から約360名の児童が参加しました。

今回の研修はアメリカ(ハワイ)、ブラジル、カナダ、スウェーデン、タイ、オーストラリア、韓国、イギリス、ルーマニア、中国の10ヶ国を用意し、各教室の入り口でパスポートを提示して入国審査を受けた後入室(入国)し、ご当地クイズやおみやげの買い物、記念写真撮影などをして回りました。その間の会話はもちろん英語！本学の教員と学生が優しくサポートしていました。

英語村体験研修には教職員の他に多くの学生アシスタントの協力がありました。学生の皆さん、2日間お疲れ様でした。



本学ホームページでは、上記のような学生生活を紹介します。ぜひご覧ください。<http://www.mic.ac.jp/>